

《結果の抜粋と掲載ページ》

■ 調査概要		2ページ
■ 【特別企画】水意識の変遷～平成から令和～		
◇水道水を10点満点評価は2009年をピークに横ばい～やや減少傾向に		3ページ
◇水に関する認知・経験率が20年間で大幅に減少		3ページ
◇ きれいな飲める水を残すために必要なこと、“企業任せ”から“自分事”へ？…トピック【1】		4ページ
◇日頃不安や心配に感じていることは全体的に数値減少		4ページ
◎沖大幹先生による解説～Oki's View～ ①		5ページ
■ 水と災害		
◇ 不安に感じている災害、水による「災い」が上位を占め、いずれも数値上昇…トピック【2】		5ページ
特に大阪圏での上昇率が顕著		
◇災害時に対する水の備え「ミネラルウォーター買い置き」増加、「何もしていない」減少		6ページ
◇ハザードマップの認知率が6割超と大幅アップ		6ページ
◎沖大幹先生による解説～Oki's View～ ②		6ページ
■ 節水の意識と行動		
◇節水を意識している人67.6%		7ページ
◇節水を実施している人66.7%		7ページ
◇日常生活で実践していること1位「歯磨き中に水を出しっぱなしにしない」		7ページ
◇実践する理由は“経済的理由”が最多		7ページ
◎沖大幹先生による解説～Oki's View～ ③		8ページ
■ 水道水に関する意識		
◇2019年の水道水評価は、高得点回答者減少で平均が6点台に低下		8ページ
◇水道水への不満1位「水道料金が安い」		9ページ
◎沖大幹先生による解説～Oki's View～ ④		10ページ
■ 【特別調査】改正水道法に関する意識・実態…トピック【3】		
◇水道法の改正内容まで知っている人1割未満		10ページ
◇水道事業の民間運営が実現しやすくなったことを「知っていた」が約3割		10ページ
◇水道事業が民間運営になった場合、「水道料金」「サービス地域格差」の悪化を懸念		11ページ
◎沖大幹先生による解説～Oki's View～ ⑤		11ページ
■ 水と生活・文化		
◇水や自然に関する祝日・記念日「山の日」の認知率が6割近くまで上昇		12ページ
◇水に関する興味・関心度1位「水災害の歴史」		12ページ

【調査概要】

第25回（令和元年度）「水にかかわる生活意識調査」

- ◆調査対象数 : 1,500票
- ◆調査対象者 : 東京圏(東京、神奈川、埼玉、千葉)、大阪圏(大阪、兵庫、京都)、中京圏(愛知、三重、岐阜)に居住する20歳代から60歳代の男女
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査期間 : 令和元年6月6日(木)～6月11日(火)
- ◆回収数(人) :

	東京圏		大阪圏		中京圏		合計		小計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
20代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
30代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
40代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
50代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
60代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
合計	250	250	250	250	250	250	750	750	1,500
	500		500		500				